

令和5年度「音楽Ⅰ」シラバス

教科名:芸術科	科目名:音楽Ⅰ	単位数:2単位
対象:1年1・2・3・4組	教科書:音楽Ⅰ Tutti+ (教育出版)	

1. 学習の目標

<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
--

2. 評価の観点

知識・技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 年間学習計画

学期	月	時間	題材	教材名	学習活動	評価方法
1 学期	4	26	歌唱「声という大切な楽器」	「校歌」「少年時代」「夏は来ぬ」(鑑賞)「この道」	発声の仕組みを意識しながら、歌詞の意味を理解し言葉を大切に歌う。	観察・ワークシート・振り返り
	5		郷土の音楽「三線演奏」	勘所、音階、「安里屋ユンタ」	三線の奏法や楽器の仕組み、また伝来の歴史について理解する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	6		イタリアの民謡や歌曲	「オーソレミオ」(鑑賞)「カロミオベン」「サンタルチア」	イタリア語の発音や特徴を捉え、表現したい内容の思いや意図をもって歌唱する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	7		キーボードの基礎	楽典、音階、「ハッピーバースデー」	楽典の基礎・基本事項をおさえて、演奏の基礎を学ぶ。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
2 学期	9	26	日本の音楽「古の音楽に思いをさせよう」	レビュー「越天楽」雅楽「蘭陵王」長唄「京鹿子娘道成寺」他	日本古来より伝わる音楽に興味を持たせ、歴史や成り立ちについての知識を広げる。	観察・ワークシート・筆記テスト・振り返り
	10		ギター演奏の基礎	音階、「カノンによるギターエチュード」「グリーンズリヴス」	ギターの仕組みを理解し、タブ譜の読み方を覚える。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	11		ドイツ歌曲の世界	「野ばら」(鑑賞)「魔王」「冬の旅」	ドイツ語の特徴やドイツ歌曲の雰囲気をつかみ、思いや意図を持って歌唱する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り

	12		循環コードで音楽をつくろう	「循環コードで音楽をつくろう」「カノン」	コードやコード進行について理解し、コードに合わせた旋律を創作する。	観察・ワークシート・筆記テスト・創作曲発表・振り返り
3 学期	1	18	物語と音楽との関わりに注目しよう	(鑑賞)オペラ「魔笛」ミュージカル「オペラ座の怪人」歌舞伎「勧進帳」	鑑賞活動を通して物語と音楽の関わり、また演奏する人とその周囲の役割を担う人等について学ぶ。	観察・ワークシート・筆記テスト・振り返り
	2		グループアンサンブル	ギター、キーボード、三線から1つまたは複数選択	演奏曲や楽器の決定、練習計画等、一人ひとりが主体的、積極的に参加し、グループアンサンブルの練習に取り組む。	観察・ワークシート・振り返り
	3		クラスコンサート	グループアンサンブル発表会	練習の成果を発表する。それぞれ思いや意図を持って発表する。互いに鑑賞しあい、感想を共有する。	観察・ワークシート・発表会・振り返り